

宗像市民図書館だより

No.103

令和元年8月発行

URL: <https://munakata.milib.jp/>

この夏に読んでみませんか

最近、図書館に入った新刊から、この夏におすすめしたい作品を紹介します。

『ちっちゃい こえ』

アーサー・ビナード/脚本 童心社
丸木 俊・丸木位里「原爆の図」より/絵

埼玉の丸木美術館にある「原爆の図」に宿る生命力を感じたアーサー・ビナードさんが、絵を切り取り作った紙芝居です。



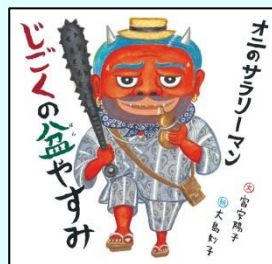
どんな生き物でも体の中にはちっちゃい声をかかえていて、ひたすら生命をつくりつづけています。あの日、ヒロシマの生き物たちに何がふりかかったのでしょうか？わたしたちはどうすれば生きていけるのでしょうか？美しい絵からひびいてくる声に耳をすませてみてください。

どんな生き物でも体の中にはちっちゃい声をかかえていて、ひたすら生命をつくりつづけています。あの日、ヒロシマの生き物たちに何がふりかかったのでしょうか？わたしたちはどうすれば生きていけるのでしょうか？美しい絵からひびいてくる声に耳をすませてみてください。

『オニのサラリーマンじごくの盆やすみ』

富安陽子/文 大島妙子/絵 福音館書店

赤鬼のオニガワラ・ケンは地獄勤めのサラリーマンです。お盆になると、地獄の釜のふたがあき亡者たちも里帰りします。空っぽになった地獄では、年に一度の大掃除の後、オニガワラさんが血の池に大事な金棒を落としてしまい、大変なことに。



作者の富安さんが5年程前、初夢で出逢った赤鬼からヒントを得て誕生したという「オニのサラリーマン」シリーズ絵本第3弾。

芥川賞・直木賞決定

7月17日、第161回の芥川賞・直木賞が決まりました。

☆芥川賞

『むらさきのスカートの女』

今村夏子 朝日新聞出版

★芥川賞候補

『カム・ギャザー・ラウンド・ピープル』

高山羽根子 ※すばる5月号

『百の夜は跳ねて』

古市憲寿 新潮社

『ラッコの家』

古川真人 ※文學界1月号

『五つ数えれば三日月が』

李琴峰 ※文學界6月号

※は単行本未発売

☆直木賞

『渦 妹背山婦女庭訓(いもせやまおんなていきん)魂(たま)結び』 大島真寿美 文藝春秋

★直木賞候補

『平場の月』 朝倉かすみ 光文社

『トリニティ』 窪美澄 新潮社

『落花』 澤田瞳子 中央公論新社

『美しき愚かものたちのタブロー』

原田マハ 文藝春秋

『マジカルグランマ』

柚木麻子 朝日新聞出版

◆9/19(木)「まわしよみ新聞」講座を開催します♪

詳細は、市の広報紙8月15日号、またはチラシをご覧ください。